令和５年度　国語科　授業改善推進プラン

台東区立駒形中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・相手の反応を踏まえて自分の考えを分かりやすく相手に伝えること。 ・自分の考えを明確にして、論理的な文章を書くこと。 ・漢字を正しく読んだり、書いたりすること。	・人との関わりの中で、表現を工夫して自分の考えを伝える力。 ・接続語等を意識して、文と文のつながりを意識して書く力。 ・語感を意識して、漢字を正確に読み書きできる力。	・人前で話す活動を適宜取り入れ、どのような表現であれば分かりやすく伝わるのかを考える活動を充実させる。 ・単元の終わりにまとめの２００字作文を継続的に実施する。 ・朝学習や小テストを行う中で、言語環境を充実させる。
第2学年	・正しい理解につながるよう文章読解に要する知識を習得すること。 ・必要な情報を収集し、論理的に考えを構築して伝えること。	・正しく文章読解する力。 ・情報収集し、活用する力。 ・事例などを示し、根拠をもって自分の考えを正しく伝える力。	・資料の読み取りや分析などをおこない、自分の意見を作文等にまとめさせる。 ・説得力のある伝え方ができるよう根拠を示す情報を収集させ、論理的に考える学習活動を充実させる。
第3学年	・自分の考えを正しく伝え、文章表現すること。 ・言語表現、語彙力の充実を高めること。 ・日本の伝統文化に関する興味関心を養い、主体的に学習を取り組むこと。	・自分の考えを正しく伝える力。 ・説得力のある文章を書く力。 ・語彙の意味を理解し、表現する力。 ・古典、文学的文章などに対する関心をもち、主体的に学ぶ探究力。	・豊かな文章表現、語彙の意味に触れ、小論文、作文やディスカッションなど、表現活動の中で活用させ定着を図る。 ・文学作品への関心を高め、歴史的文化的な背景などの理解につなげる。